

株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
証券コード 7856
事業年度 11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会 1月
基準日 定時株主総会 10月31日
期末配当 10月31日
中間配当 4月30日

単元株式数 100株
公告方法 電子公告
当社ホームページアドレス <https://www.hagihara.co.jp/>
※ただし、事故その他のやむを得ない事由により
電子公告による公告をすることができない場合
は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

株式のお手続きについてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店におきましてもお取り扱いいたしません。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



第59期 中間報告書

2020年11月1日～2021年4月30日

証券コード：7856



株主のみなさまには、平素より温かいご支援、ご理解を賜り、心よりお礼申し上げます。
第59期第2四半期の事業の概況についてご報告申し上げます。

業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染状況の悪化の傾向が見られる半面、一部海外経済の回復基調が続くなど、明暗の入り混じった状況が続きました。このような中で、脱炭素の動きが着実に進み始め、その関連需要が景気回復のけん引役として期待されるとともに、その需要を取り込めるかどうか企業が左右するようになりつつあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましても、感染防止策を徹底しながら生産活動等の維持、継続に努めるとともに、持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた取り組みを当社グループの重要課題と認識し、事業運営を通じて目標達成に貢献できるよう努めております。

その結果、売上高131億7百万円（前年同四半期比7.4%減）、営業利益12億70百万円（前年同四半期比10.6%減）、経常利益13億31百万円（前年同四半期比19.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億16百万円（前年同四半期比19.6%減）となりました。

合成樹脂加工製品事業

合成樹脂加工製品事業におきましては、海外向け包装資材「メルタッククロス」が米国での巣ごもり消費で需要拡大、粘着テープ関連及び人工芝原糸も堅調に伸びたことに加え、当社が開発した新素材「レイシス」を用いた最終製品が防虫分野で上市されました。一方、シート関連は防災用備蓄の引合い減少等により、フレキシブルコンテナバッグは需要回復途上で前年水準には届かず、それぞれ減収となりました。またコンクリート補強繊維「バルチップ」は国内向けが建設工事の遅れのため、海外向けが販売先の在庫調整のため、それぞれ減収となりました。

インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」及び中国子会社「青島萩原工業有限公司」につきましては、前者でPCR検査陽性者の発生が見られるものの、双方とも通常通りに稼働しております。

国内子会社「東洋平成ポリマー株式会社」は、クロス事業は堅調でしたが、フィルム事業で一部低採算品の受注抑制を行ったため、全体では減収となりました。

その結果、売上高108億72百万円（前年同四半期比6.2%減）、営業利益9億41百万円（前年同四半期比16.9%減）となりました。

機械製品事業

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連製品では、中国のディスプレイ大手の投資に対応した偏光板用大型機や、中央アフリカ軟包材メーカー向けなど新たな需要を取り込みましたが、リチウムイオン電池セパレーター用の売上急減などを補えず減収となりました。一方押出関連機器では、PETボトルのボトルのボトルリサイクル用特殊スクリーンチェンジャーの売上もあり増収となりました。

リサイクル関連機器では、リサイクル需要の高まりを受けて、食品容器用が好調であったため増収となりました。

収益面では、付加価値の高いスリッターの売上があったため、増益となりました。

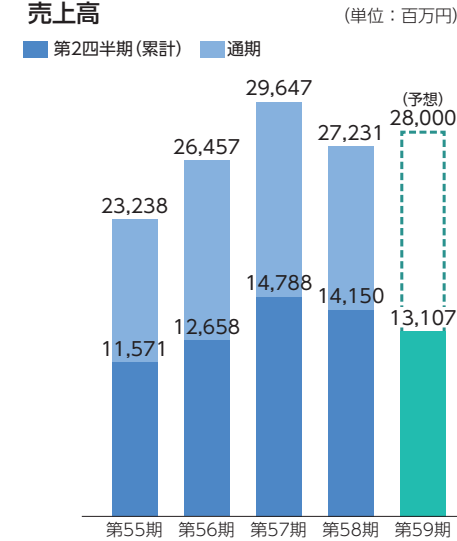
その結果、売上高22億35百万円（前年同四半期比12.7%減）、営業利益3億29百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。

株主のみなさまには、引き続きご支援ご鞭撻をいただきますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

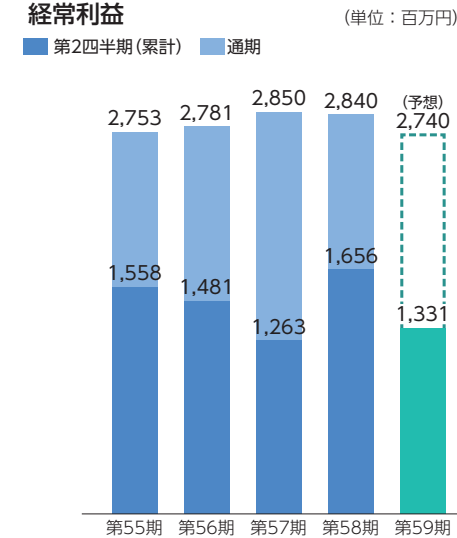


代表取締役社長 浅野和志

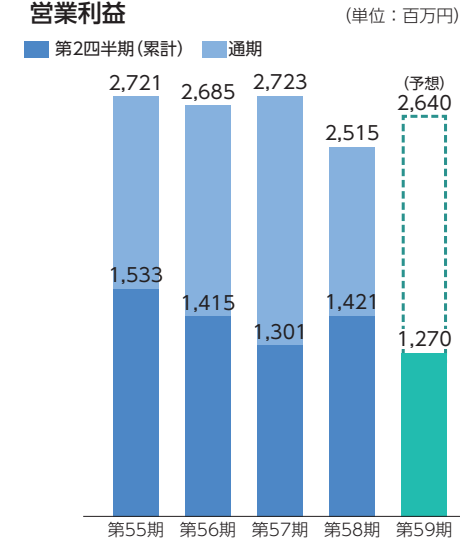
売上高



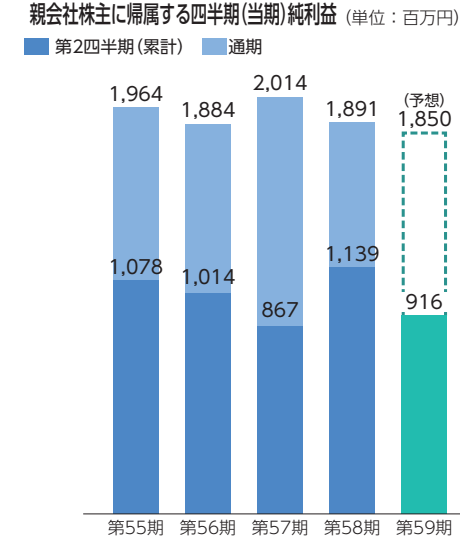
経常利益



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



第59期(2021年10月期)第2四半期決算サマリー(連結)

■ 売上高
131億7百万円
前年同四半期比 **7.4%減**

■ 営業利益
12億70百万円
前年同四半期比 **10.6%減**

■ 経常利益
13億31百万円
前年同四半期比 **19.6%減**

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益
9億16百万円
前年同四半期比 **19.6%減**

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前第2四半期 2020年4月30日現在	当第2四半期 2021年4月30日現在	前期 2020年10月31日現在		前第2四半期 2020年4月30日現在	当第2四半期 2021年4月30日現在	前期 2020年10月31日現在
資産の部				負債の部			
Point ① 流動資産	20,330	21,378	20,508	Point ③ 流動負債	8,106	8,017	7,740
Point ② 固定資産	12,399	12,523	12,292	Point ③ 固定負債	1,445	1,401	1,534
有形固定資産	9,641	9,884	9,701	負債合計	9,551	9,419	9,275
無形固定資産	795	688	693	純資産の部			
投資その他の資産	1,962	1,949	1,897	株主資本	23,176	24,321	23,666
資産合計	32,729	33,902	32,800	資本金	1,778	1,778	1,778
				資本剰余金	1,469	1,469	1,469
				利益剰余金	20,393	21,538	20,883
				自己株式	△ 464	△ 464	△ 464
				その他の包括利益累計額	0	160	△ 143
				その他有価証券評価差額金	△ 2	15	8
				繰延ヘッジ損益	△ 1	△ 0	3
				為替換算調整勘定	△ 89	150	△ 111
				退職給付に係る調整累計額	94	△ 5	△ 43
				非支配株主持分	1	1	1
				純資産合計	23,178	24,483	23,525
				負債純資産合計	32,729	33,902	32,800

Point ① 流動資産

現預金及び棚卸資産が増加したことにより213億78百万円となりました。

Point ② 固定資産

機械装置の増加により125億23百万円となりました。

Point ③ 流動負債、固定負債

流動負債は、前受金の増加により80億17百万円となりました。固定負債は退職給付に係る負債及び長期借入金等の減少により14億1百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自 2019年11月1日 至 2020年4月30日	当第2四半期(累計) 自 2020年11月1日 至 2021年4月30日	前期 自 2019年11月1日 至 2020年10月31日
売上高	14,150	13,107	27,231
売上原価	9,992	9,003	19,278
売上総利益	4,158	4,104	7,952
販売費及び一般管理費	2,736	2,834	5,437
Point ④ 営業利益	1,421	1,270	2,515
営業外収益	280	113	405
営業外費用	45	52	80
Point ④ 経常利益	1,656	1,331	2,840
特別利益	52	—	52
特別損失	—	—	73
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,709	1,331	2,820
法人税等	570	415	928
四半期(当期)純利益	1,139	916	1,891
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	0	△ 0	0
Point ④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,139	916	1,891

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point ④ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

売上の減少に加え、海上輸送費の高騰により営業経費が増加した結果、営業利益12億70百万円、経常利益13億31百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益9億16百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自 2019年11月1日 至 2020年4月30日	当第2四半期(累計) 自 2020年11月1日 至 2021年4月30日	前期 自 2019年11月1日 至 2020年10月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,667	1,396	3,315
Point ⑤ 投資活動による キャッシュ・フロー	123	△ 680	△ 670
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 757	△ 314	△ 1,228
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 7	77	△ 32
現金及び現金同等物の 増減額(減少：△)	1,026	479	1,383
現金及び現金同等物の 期首残高	5,556	6,940	5,556
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	6,582	7,420	6,940

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の新増設等の設備投資による支出等により、6億80百万円の資金の減少となりました。

合成樹脂加工製品事業

デジタル印刷レジャーシート

フィルム面に製版不要のデジタル印刷を採用
小ロット・複数デザインを実現！

従来のグラビア印刷の最小ロット「6,000枚〜/1デザイン」に対して、デジタル印刷は「500枚〜/10デザイン」から生産できるため、小ロットで多様なニーズにお応えすることが可能になりました。3月に販売開始後、すぐに女子サッカーチーム「吉備国際大学シャルム」のグッズとして採用されました。

今期注目の新製品



デジタル印刷レジャーシート

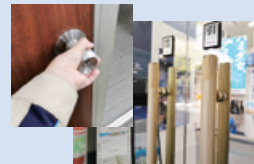
抗菌クロスステープ

気になる箇所を簡単抗菌仕様、手切れ性も抜群！

化粧品などにも使われる安全性の高い抗菌剤を用いて、4層構造の表面層に抗菌機能を付与しました。SIAA（抗菌製品技術協議会）マークも取得しており、感染症対策に関心が高まる中、販売開始直後から多数の注文をいただいております。



抗菌クロスステープ



ドアノブでの使用例

機械製品事業

国内外の業容拡大へ向けて

昨今のスリッター業界は、国内・海外合わせ多くのメーカーが台頭しており、競争が激化しております。その状況下、昨年来の新型コロナウイルスの影響により、お客様への訪問や海外渡航が制限され、これまでのような営業活動が難しい状況となっております。

当社ではこの競争を勝ち抜いていくため、各種展示会にスリッター機を出展いたしました。国内では「TOKYO PACK 2021」に、海外では子会社である萩華機械技術（上海）有限公司が「CHINAPLAS 2021」に出展し、当社スリッターの性能・機能をPRいたしました。

またタイの子会社であるHagihara Industries (Thailand) Co., Ltd. においては、お客様へのメンテナンス訪問などのアフターサービス活動を継続しており、迅速で柔軟な対応ができる体制を構築しております。

今後も業容拡大を目指して国内外の市場に積極的に展開してまいります。



〔CHINAPLAS 2021〕



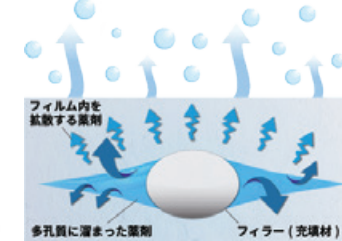
〔TOKYO PACK 2021〕



新素材「レイシス®」を用いた製品が販売開始

当社が開発した新素材「レイシス®」が、アース製薬株式会社より発売された新製品「虫よけマモリーネ」及び矢切薬品株式会社より発売された新製品「アローフィルム」に採用されました。

レイシスとは…



無数の小さな空孔を内部に含む特殊な樹脂で、空孔内に浸み込ませた薬剤の放出量と放出時間を自由にコントロールすることができる世界初の特許技術です。

特徴として、薬剤の効き目を最初から最後まで一定に保つことが可能であること、色の変化によって交換時期が一目で分かるインディケータ機能が付与できること、使う薬剤や分野を問わず様々な市場での活用が可能であることなどが挙げられます。

虫よけマモリーネ(アース製薬株式会社)

- 2021年3月10日発売
- 吊るして使用するハンディタイプの虫よけ
- レイシスは超濃縮薬剤シートとして採用されました。シートの薬剤が放出する量が最後まで一定のため、90日間安定した効果が続きます。また、薬剤が放出するにつれてシートの色が変化するため、交換時期が一目でわかります。現在、全国のホームセンター、ドラッグストア等で好評販売中です。



アローフィルム(矢切薬品株式会社)

- 2021年3月15日発売
- 浄化槽マンホール内に吊るして使用する害虫駆除フィルム
- レイシスの薬剤放出のコントロール機能を活かし、駆除効果が約3~4ヶ月持続します。長く使用できることにより、取替作業の負担軽減にもつながります。



ブルーシート水平リサイクル「Revalue+」始動！

2020年12月23日、当社とJ&T環境株式会社は、廃ブルーシートから再びブルーシートを製造する国内初のブルーシート水平リサイクル「Revalue+」の事業化を目指し、業務提携を行いました。

現在、廃ブルーシートはその多くが焼却処理されており、一部は再生ペレット化されているものの、品質の問題からブルーシートの原料にはなっておりません。これらをブルーシートの原料として再生利用し、新品のブルーシートを製造することを目標としております。

この活動を通じて、CO₂排出量削減と天然資源の使用量抑制に貢献し、SDGsへの取り組みを更に強化してまいります。

提携の概要及び各社の役割

萩原工業株式会社

- 販売経路を通じた廃ブルーシートの回収先の確保
- プラスチックリサイクルに関する広報活動
- 廃ブルーシート由来再生ペレットの改質及び調質技術の研究、開発

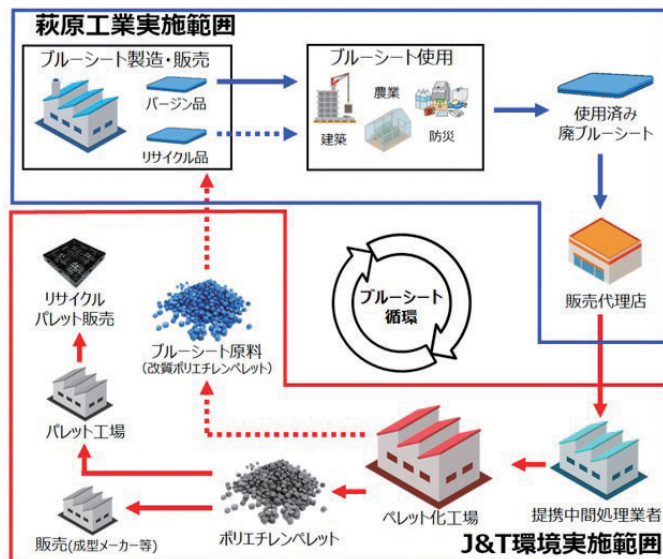
J&T環境株式会社

- 排出元からのリサイクル対象物品の収集
- 廃ブルーシートからの再生ペレットの製造、販売
- 再生ペレットを利用した製品の開発、製造、販売

2021年2月と4月にブルーシートの回収イベントを行いました。今後も啓蒙活動として取り組んでまいります。



ブルーシート水平リサイクル「Revalue+」スキーム



凡例：実線 第一段階（一部実施済） 点線 第二段階（将来予定）

「Revalue+」の名前の由来

Re：リサイクル、再生 → リサイクルで再び価値を生み出す
 Value：価値
 +（プラス）：劣化や汚れに対するの調質・改質・ろ過技術の新たな付加

バルチップが国際的環境マーク「EPDマーク」を取得



2020年12月、当社の海外市場向けバルチップ（Rシリーズ、MQ58、48、54、60）がEPDマークを取得しました。

EPD（Environmental Product Declaration）マークとは、製品の全ライフサイクルにわたる環境影響を第三者機関による認証の上で情報開示する国際的な環境マークです。

EPDマークを取得している製品は、生産から廃棄までの環境影響結果や、宣言している内容が適切であることが証明されております。値段や使いやすさなどに加えて、製造工程や製品に含まれる物質などの公開情報をもとに、各自が環境に良い製品を選ぶことができる材料になります。現在48カ国の企業から約1,100件以上の登録があります。

EPDマークを通じて、鉄を使用する従来工法と比較してCO₂の削減が可能であるバルチップのメリットをより多くの方に認知いただけるよう、情報の発信に努めてまいります。

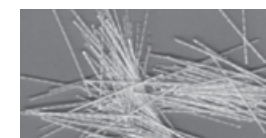
なお、日本国内においてはEPDマークと同じく「エコリーフ環境ラベル」という認証があり、現在日本市場製品においてもエコリーフ環境ラベルの取得に向けて取り組んでおります。



Rシリーズ



MQ58



48, 54, 60

世界中で活躍！—バルチップの使用事例—



アフリカ・トーゴ共和国

日本のODAで建造された橋において、バルチップが使用されております。



Before



After

毎年雨季になると川の氾濫により橋が水没しておりましたので、安全な通行を維持するため、新たな橋が建設されました。新たな橋には、ひび割れ抑制効果と橋の耐久性向上を目的として、バルチップが使用されております。



アフリカ・モーリシャス共和国

政府が進めている公営住宅の建設において、バルチップが使用されております。



政府による低所得者支援として、国内に11,000棟もの公営住宅の建設が進められております。工期短縮を目的に、土間床の補強でバルチップが使用されております。現地施工業者からは「建設スピードが従来の2倍になった」と高い評価を受けております。

健康経営優良法人2021に認定

当社は、健康経営優良法人2021に認定されました。昨年に引き続き2年連続の認定となります。健康経営優良法人制度とは、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。



今回は当社が行っている健康経営の取り組みの一部についてご紹介いたします。

全面禁煙を実施

当社は健康経営の推進のため分煙等受動喫煙防止対策を行ってまいりましたが、2020年11月1日よりこれまで以上に積極的な禁煙対策を行っております。今回の対策によって、社員、お客様を始めとする関係者の健康を増進するとともに、より働きやすい職場づくりに努めてまいります。



- ・ 駐車場も含めた当社敷地内・事業所内の全面禁煙
- 【実施内容】 ・ 就業時間中の禁煙
- ・ 当社を訪問されるお客様への禁煙のご協力依頼

社員食堂にてヘルシーメニューを採用

当社の社員食堂には3種類の定食があり、そのうちの1つを「ヘルシーメニュー」として提供しております。従来の食べ応えを残しつつも、栄養バランスを考えて野菜を多く使用したメニューです。調理方法は蒸す・煮るなどをメインとしてカロリーを抑え、揚げ物はヘルシーな種類の油を使用しております。秋は疲労回復に効く食材、冬は体を温める食材を多く使用するなど季節やテーマに合わせた内容になっております。またメニュー表にはカロリー、塩分、脂質などが記載されており、各自の健康状態に合わせたメニューを選ぶことができます。



ヘルシーメニュー

健康経営 × SDGs

TABLE FOR TWO自動販売機を設置

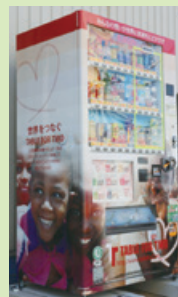
当社は、TABLE FOR TWO自動販売機を社内に設置しております。

「TABLE FOR TWO」は、開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病に同時に取り組む社会貢献活動です。TABLE FOR TWO自動販売機は、購入代金の一部が「特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International」に寄付され、その活動に役立てられます。

この自動販売機では、通常の飲料に加え健康飲料が多く販売されております。例えば、無糖や低カロリーの肥満防止につながる飲料、免疫力や記憶力をサポートする機能性飲料などがあります。これらの健康飲料には分かりやすいように枠組みやポップで印をつけており、誰でも簡単に選ぶことができます。購入の際により健康に良いものを選ぶことができるだけでなく、目に留まるだけでも自身の健康を見直す一つのきっかけになります。

今後とも社員の健康と世界の人々の未来に向けて、継続的に健康経営の推進と社会貢献活動に取り組んでまいります。

TABLE FOR TWO自動販売機▶



株式に関する事項

(2021年4月30日現在)

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	14,897,600株
単元株式数	100株
株主数	10,683名

大株主（上位10名）

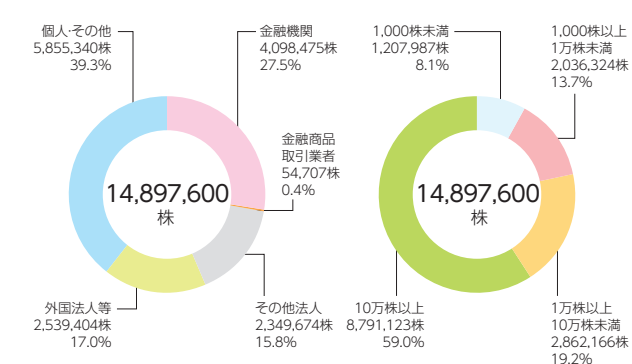
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
萩原株式会社	1,435	9.86
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,109	7.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,088	7.48
萩原邦章	524	3.60
萩原工業従業員持株会	442	3.04
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	423	2.91
日本ポリケム株式会社	400	2.74
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	350	2.40
RE FUND 107-CLIENT AC	300	2.06
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	241	1.65

(注) 1.当社は自己株式351,438株を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式を控除して算出しております。

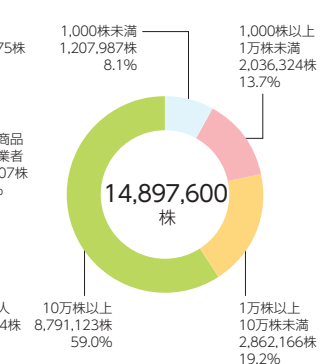
株式分布状況

(2021年4月30日現在)

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



会社概要

(2021年4月30日現在)

商号	萩原工業株式会社
本社	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
	TEL.086-440-0860
	FAX.086-440-0869

設立 1962年（昭和37年）11月29日

資本金 17億78百万円

従業員数 484名

主な事業内容 ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維のフラットヤーンを用いた関連製品及びフラットヤーン技術を応用したスリッター等産業機械の製造・販売

役員

(2021年4月30日現在)

役職	氏名
代表取締役会長	萩原 邦章
代表取締役社長	社長執行役員 浅野 和志
取締役	常務執行役員 笹原 義博
取締役	執行役員 吉田 淳一
取締役	執行役員 松浦 正幸
取締役	執行役員 飯山 辰彦
社外取締役	中原 裕二
社外取締役	大原 あかね

監査役

常勤監査役	金光 利文
社外監査役	石井 辰彦
社外監査役	三宅 孝治

執行役員

執行役員	藤田 学
執行役員	國定 佳孝
執行役員	犬飼 正樹
執行役員	笹木 真尚
執行役員	川島 薫